

第 68 回 AIST・筑波大学・TCI ベンチャー技術発表会のお知らせ

主催 筑波大学・産業技術総合研究所・(株)つくば研究支援センター

筑波研究学園都市の大学・研究所・地元ベンチャー企業等の技術交流及び活性化を目的とし、AIST/筑波大学/TCIベンチャー技術発表会を下記要領にて開催いたします。

- 1 日時 平成29年11月30日(木) 14:00~15:00
- 2 場所 つくば研究支援センター 研修室B (つくば市千現2丁目1番6)

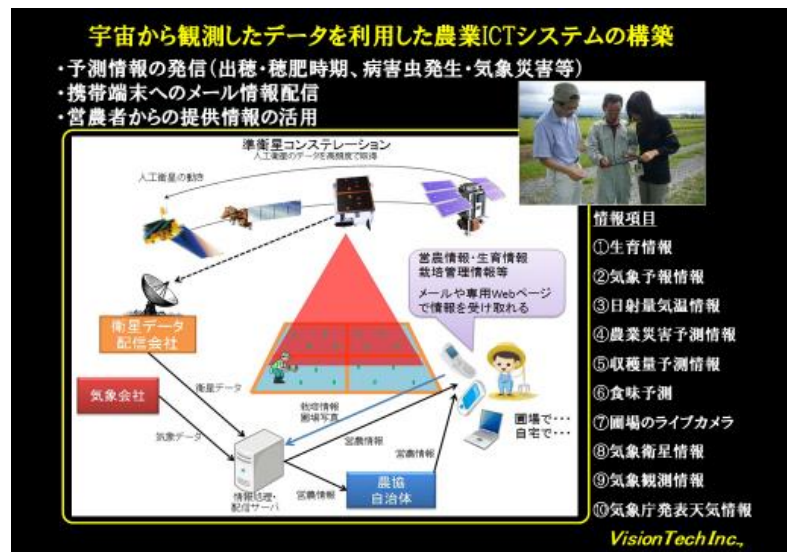
Program

午後2時00分から2時30分

宇宙から観測したデータを利用した農業 ICT システムの構築

日本最初の地球観測衛星「もも1号」が1987年2月に打ち上げられて以来、今年で、丸30年を経過しました。そして、今では世界60カ国以上の国が人工衛星を所有するまでになり、今や、通信、放送、測地の分野では社会インフラと呼ばれるまで普及が進みました。一方で、地球観測衛星の利用については、地図の作成や土地被覆図のような主題図の作成など、限定的な利用に留まっており、未だ社会インフラと言われるような利用がされていません。

そこで、(株)ビジョンテックでは地球観測衛星の持つ優れた特徴を引き出し、農業生産現場での利用に適応させ、インフラの利用を可能とする技術開発を行いましたので、その技術と今後の普及に向けての活動を紹介します。



開発した農業 ICT システムのコンセプト図

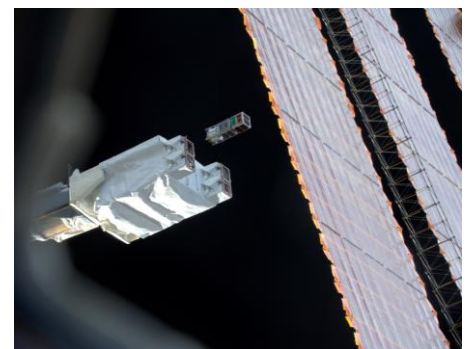
発表者：株式会社ビジョンテック 代表取締役 原 政直 氏

URL：<http://www.vti.co.jp/>

午後2時30分から3時00分

超小型人工衛星による宇宙利用プラットフォームの構築と運営

ハイテクデバイスが個人で所有できるまで低価格化されると、様々な利用方法が誕生し、普及していきます。自動車・PC・インターネット・スマートフォン・ドローン、いずれもメーカーではなく、サードパーティーやユーザーが次々と利用範囲を広げています。低価格で手軽な宇宙利用が可能になれば、新たなビジネスプランや科学技術をすぐに宇宙で試せる時代が到来します。こうした「手軽な宇宙利用の場 = プラットフォーム」を、(株)ワープスペースは構築しています。これは限られた少ない予算で衛星の開発・打ち上げ・運用を成功に導いた貴重な経験を持つ大学発ベンチャーだからこそ可能な事業です。会場では、みんなが宇宙と遊ぶ世界を実現するためのプランを紹介します。



発表者：株式会社ワープスペース 代表取締役 亀田 敏弘 氏

URL：<http://warpspace.jp>



■申込方法：会社名・所属・氏名・連絡先をE-mail：sotaku@tsukuba-tci.co.jpまでご連絡下さい。

つくば研究支援センター 担当：石塚・後藤 TEL:029-858-6000